国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022－2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト
http://k-rc.main.jp/

第22回　2022年12月22日

会長挨拶

佐藤尚宏 会長

皆さん、こんにちは。先週クリスマス家族会が盛大に行われました。家族の方、子ども達にも大変好評でございました。親睦委員会の皆様、本当にありがとうございました。12月20日、橋本幹事と私でコスモスRCの夜のクリスマス会例会にIMキャラバンで行って参りました。慎ましやかな会で、こういうのもいいなと思う例会でした。

本日は今年の冬至に当たります。北半球で一番昼が短くて夜が長くなる日です。別名、一陽来復と呼ばれます。これは太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が蘇ってくるという前向きな意味合いを含んでいます。私と幹事は力が弱まっていないですが、またこれから加速して力を出して行きたいと思っております。

このところの北陸・新潟の大雪で、道路が大渋滞になり、一日以上車の中に居たという方もいて、一酸化炭素中毒が大変怖いです。車のマフラーに雪がかかってしまうと、一酸化炭素が車の周りを循環し、それが内気循環にしても車内に入り、5分もすると分からないうちに昏睡状態になってしまうという事です。これから出かけた際に、車が雪に埋もれたりしたら、マフラーの周りをこまめに除雪をするなどして充分注意して頂きたいと思います。

各種表彰

○ 新会員入会者数上位クラブ
　第1位（13名）
○ 米山記念奨学金寄付表彰
　寄付総額第8位
○ 最優秀会報賞
○ ロータリー賞
○ 米山功労者
　マルチプル
　第6回
　石黒秀司君

○ 新米山功労者
　中原喜範君

○ 地区職業奉仕委員会
　初瀬照夫君

年次総会
2025～2026年度会長候補者の件

佐藤尚宏 会長

郡山RCの会長は、歴代会長会における会長選考委員会にて指名される慣しになっております。これに基づき去る11月24日に会長選考委員会が行われ、候補者の中から佐藤修朗君が2025～2026年度会長に指名されました。皆様、ご承認頂けますでしょうか。（拍手）

2023～2024年度役員理事の件

菅野秀士 会長エレクト

2023～2024年度の郡山RCの役員理事の選挙ということで、ある程度執行部で人選してお願いしておりました。一人一人読み上げますので慎重審議を宜しくお願いしたいと思います。いかがでしょうか。（拍手）ありがとうございます。それではこの役員理事で前に進んで行きたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

郡山ロータリークラブ
2023～2024年度　役員・理事

会長理事	菅野　秀士	理事	佐藤　尚宏
幹事	中原　喜範	職業奉仕理事	遠藤友紀晴
副幹事	高橋　孝行	社会奉仕理事	有賀　隆宏
S・A・A	伊野　泰司	国際奉仕理事	高橋　裕一
副S・A・A	二瓶　健一	青少年奉仕理事	石黒　秀司
会長エレクト	平松　敏郎		
副会長理事	佐藤　修朗		
会計理事	有馬　賢一		

幹事報告

橋本　勝 幹事

お陰様で半年が過ぎ、我々も今日で半分が終わりました。これも皆さんの寛容の心があるからこそ、我々佐藤会長と私がここまで来れたのかなと思います。また事務局のお休みが29日から1月3日になり、土日が休みとります。また、働き方改革でたまに有休を使うことがありますので、連絡する時は私に頂ければと思います。

親睦活動委員会報告

横山　大 委員長

先週のクリスマス家族会におきましては、皆さんの協力により本当に楽しく盛大に行う事ができました。また協賛も沢山頂きましてありがとうございました。今年一年間本当にお世話になりました。来年も親睦委員会全員で頑張って行きますので、宜しくお願いします。

ニコニコBOX委員会報告

佐藤　聡 委員長

◎本日は今年最後の例会になります。ご出席ありがとうございます。安藤宮司の卓話、楽しみです。　佐藤尚宏君
◎今日は第22回例会です。宜しくお願いします。また、安藤宮司の卓話楽しみに！　橋本　勝君
◎安藤智重宮司様、本日の卓話宜しくお願いします！　山口　仁君
◎安藤宮司の卓話、楽しみです。今年も一年間ありがとうございました。良いお年を…。　池田達哉君
◎一年間お世話になりました。来年も宜しくお願いします。安藤宮司さんの卓話を楽しみにして来ました。　遠藤友紀晴君、中原喜範君
◎安藤宮司の卓話、楽しみです。宜しくお願いします。　伊野泰司君、幕田宙晃君
◎宮司のお話、楽しみです！また一杯楽しくやりましょう！　関根　信君

◎素敵なサンタさん、クリスマス家族会でのたくさんの子供の喜ぶプレゼント、ありがとうございました。　酒井良胤君

◎先日のクリスマス会、大変お世話になりました。孫たちも大変喜んでおりました。　今泉正規君

◎会長、幹事、会員の皆様、7月～12月半期ありがとうございました。安藤宮司様、卓話楽しみにしております。　大木勝浩君

◎今年最後の例会、皆様良いお年をお過ごし下さい。　前田泰彦君

◎本年一年、お世話になりました。皆様、良いお年をお迎え下さい。　石黒秀司君

◎今年一年ありがとうございました。来年もどうぞ宜しくお願い致します。　菅野秀士君

プログラム紹介　幕田宙晃 委員

本日は安積国造神社第64代宮司の安藤智重君より卓話を頂きます。安積艮斎先生の話になるのかなと思っております。後ろの方に安積艮斎先生の本を数冊ご用意しましたので、そちらもご購入頂けると安藤宮司が非常に喜んで頂けるのかなと思っております。

会員卓話

「艮斎間話について」

安積国造神社
宮司　安藤智重君

このたび、「艮斎間話」という本を現代語に訳して出版致しました。この「艮斎間話」というの は幕末のベストセラーの一つで、他に頼山陽の日本外史がありますが、余りにも天皇中心に書かれていて、かなりウルトラナショナリズム的な方向に行ったのがよく知られています。艮斎はそういう極端な思想ではなくて真っ当な思想であって、「艮斎間話」は戦前においても良く読まれていた様です。艮斎の場合は大体漢文で書いておりますが、「艮斎間話」は和文で書かれています。和文と言っても江戸時代の和文であり、しかも引用の部分は漢文のままで、現代語に訳さないと分かりづらいこともあり訳した次第です。本の中では、色々学んでもただの上っ面の学びではなくて、「自得」するということが大切だということを言っています。吉田松陰などの様に、突き抜けた人間ばかりが有名になってしまい、ちゃんとした人間はそれほど有名にならないんですよね。吉田松陰も人を動かす言葉が一杯ありますが、大部分が艮斎の思想が基になっています。例えば吉田松陰の「草莽崛起（そうもうくつき）」という言葉がありますが、これは維新の時の討幕を鼓舞したスローガンです。そういうのもこの艮斎間話にある言葉からきています。

次に、儒学とは一体何なのかというと、儒学というのは宗教ではありません。今で言う政治哲学とか社会科学のようなもので、元々は孔子の教えであり、論語・大学・中庸・孟子に五経を加え四書五経と言い特に重要とされています。朱子学というのは、西暦千年頃出てきて、これは持続性を重視する今の持続性重視型の自由をある程度制限する考え方です。安積艮斎というのは儒学思想を実践の学、社会変革の学として捉え直した人です。儒学というのは江戸時代の指導層の行動原理で、老中阿部正弘がすでに安政維新に実践しています。開国や近代化もこの時代に行っています。しかし、みんな明治政府のプロパガンダにより全部明治に行われたということになっています。合理思考、これも儒学が生み出したもので、幕府外交は批判されていますが、しっかりと幕府の儒家が対応して、ペリーに対しても理不尽な要求には対抗しています。大統領の親書はよく知られており、友好的なことが書いてありますが、それに添えられたペリーの書簡には非常に威圧的な態度で開国を迫る内容だった様です。艮斎の回答延引策というのは、ペリーが開国か鎖国かと迫って脅してきた際に、艮斎はすぐに要求に応えたのでは馬鹿にされるということで、回答を引き延ばして一年後また来たら回答すると言ったわけです。それが国策となりペリーは一旦戻ります。その一年後、林復斎という艮斎の友人であり大学頭（だいがくのかみ）である人物が日米和親条約交渉をしており、丁々発止の議論をし、関税も高めに取流など日本が損しないよう日米修好通商条約締結時配慮させたのですが、その後、尊王攘夷の連中が悪さばかりしたために、付け入られていつの間にか関税がどんどん上げられてしまって、不平等条約に後からなったわけです。

漢文というのは東洋と西洋を結ぶ言語でありまして、当時は漢文が世界言語でした。既に清国はアヘン戦争以来どんどん西洋のものが入っており、大体西洋の文献はもう漢文にはなっていたので、漢文が分かれば大体世界の状況も分かり、非常に複雑な人間社会も表現可能であるので、漢文が入ってきたお陰で、漢文・平仮名・片仮名の三重奏で日本語が今立派に成り立っているわけです。その艮斎の教えですが、「朋友信有（ほうゆうしんあ）り」と言い永く変わることのない友情で結ばれた友人を言い、信じあって楽しく社会を作り上げて行きましょうということ。これはロータリーの考え方と非常に合っています。また、孟子が言っていますが「父子親有（ふししんあ）り」家族仲良くということ。「君臣義有（くんしんぎあ）り」上司と部下もちゃんと義に基づいてやりなさい。「夫婦別有（ふうふべつあ）り」夫婦もある程度お互いのことを認め合いなさい。そして「長幼序有（ちょうようじょあ）り」。年取っている人も若い人も順番ぐらいはありますよ、という教えがあります。

艮斎は、日本初の総合的な国防論「洋外紀略（ようがいきりゃく）」を書いています。西洋の宗教やアヘンを使った侵略への注意や、交易の危険性にも述べています。ただ単に交易をすれば金が儲かるというものではなく、先に近代化が進んでいる国と貿易すると、後進国が損をして、いずれ植民地にされてしまう可能性などにも警鐘を鳴らしています。これはアヘン戦争の危機で書かれた本で、日本も早い時期に危機意識を持ったから今の日本があるのであり、それが無ければ、今頃はこの辺も他の国になっていた可能性があるわけです。

令和4年11月、「艮斎間話 現代語訳」が発刊されました。これは哲学的な本で非常に役に立ちます。これからの人生を充実して生きるための指南書にもなるのではないかと思います。お買い上げをどうぞ宜しくお願いします。

出席報告　有賀隆宏 委員長

総員／103名　出席／55名　欠席／48名
出席率／53.40%　前回修正率／100%
他クラブ出席／8名

次回 第24回例会
令和5年1月12日㈭
会員卓話

「自己紹介」
三井住友海上火災保険 ㈱福島支店
支店長　松井洋介君

株式会社 佐藤工業
代表取締役　佐　藤　政　弘
〒963-8811　郡山市横塚 2-9-11
☎ 944-3388　FAX 944-3389

三井住友海上火災保険㈱
福島支店長　松　井　洋　介
〒963-8878　郡山市堤下町 11-6
☎ 932-0459　FAX 932-1764

会報第22号（通算3399号）2023.1.5発行　／　編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起